

臨床検査

# 細菌検査システム

Microbiology Laboratory Information System

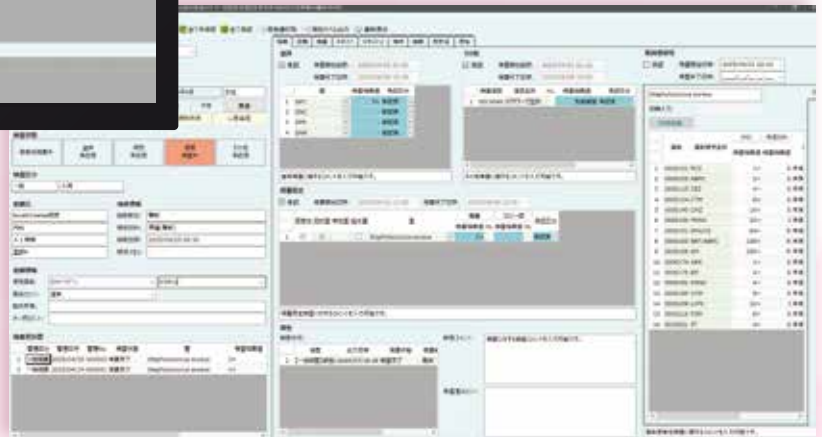
長期にわたる検査をトータルサポート  
効率的な運用を実現します



▲進捗モニタ



▲依頼入力画面



▲結果表示画面

Point 1  
検査  
進捗管理

Point 2  
作業効率化

Point 3  
上位システム  
外注検査連携  
分析装置接続

Point 4  
統計情報  
JANIS 対応

Point 5  
臨床現場との  
連携強化

## Point 1 検査進捗管理

- 長期にわたる検査に対応するため、各オーダーの検査状況を把握しておくことが非常に重要になります。任意の検査日付範囲を指定し、まだ検査が終了していない検査を一覧で確認できます。
- 進捗モニタでは、検査状態・各検査の状態をマークによって画面に表示します。また、培養・薬剤感受性など検査開始からの経過時間も表示できます。
- 特定の検査依頼に対して、塗抹、培養同定、薬剤感受性の各検査の段階ごとにどういった状況かを一つ一つ結果枠を見なくても状況が視覚的にわかります。

検査状態	塗	培	感	他	報告書 出力
	感受性検査中	○	○	▲	—
塗抹検査中	▲	—	—	—	



## Point 2 作業効率化

- ワークシート出力や検体・培地ラベルなど、必要な帳票を専用画面を開き、出力操作をするのではなく、依頼入力時、検体到着時など必要な時に出力できるようにしました。無駄な画面操作を除くことで、作業の効率化が図れます。

## Point 3 上位システム・外注検査会社連携、分析装置接続



## Point 4 統計情報・JANIS 対応

- ICT 活動用の統計資料や JANIS へ提出するファイル作成など集計に時間がかかる業務を効率化します。
- 主な統計処理 -
  - \* アンチバイオグラム
  - \* 病棟毎検出菌件数、検出菌発生率
  - \* 薬剤耐性菌 検出一覧
  - \* 血液培養ボトル提出状況確認リスト
  - \* 喀痰性状一覧
- その他、ご施設様独自の統計資料がございましたらカスタマイズにて対応いたします。

## Point 5 臨床現場との連携強化

- システム構築当初から「臨床現場との連携強化」を意識して開発を行いました。各検査毎にフリー入力可能なコメント枠を用意しております。定性値、数値等で臨床現場へ伝わりづらい検査結果を文章にて入力し、電子カルテや報告書へ反映することが可能。
- 電子カルテへ各種検査のコメントを反映できるかは、電子カルテ側が対応可能であることが前提となります。

